

平成21年度 科学研究費補助金（特別推進研究）  
事後評価結果

研究課題名	減数分裂における制御機構	研究代表者名 (所属・職)	山本 正幸(東京 大学・大学院理学 系研究科・教授)
-------	--------------	------------------	----------------------------------

### 研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
○	A+	期待以上の研究の進展があった
	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

### 評価意見

本研究課題では、分裂酵母を材料に減数分裂機構解明に向け果敢に挑戦している。減数分裂時のための mRNA 不安定化機構について、特定 mRNA の不安定化領域 (DSR) 共通配列モチーフを明らかにしつつ、DSR に特異的に結合し、分解除去する因子として Mmi1 を同定している。減数分裂開始時には Mmi1 は核内点状構造に捕えられ DSR への結合が妨げられ mRNA 分解が妨げられた。さらに、研究代表者らが同定した減数分裂マスター制御因子 Mei2 が核内点状構造に含まれていることも明らかにするとともに、Mei2 の機能についても理解が進んでいる。また、減数分裂を誘導する情報伝達経路として TOR 複合体の基本構成が明らかにされ、その中で TORC2 複合体は有性生殖に不可欠であることが示されている。

このように、減数分裂の基本機構に関し、新たな広がりをもたらす期待以上の成果が得られ、オリジナリティの高い研究となっている。

本研究課題はこの分野の発展に大きく貢献しており、特別推進研究として高く評価できる。